



**問** 災害時の市民病院の受入体制の充実について伺う。

**答** 災害時に必要となる医療機能を万全に提供できるように、必要な施策を計画に盛り込んでいきたい。

**問** 防災の拠点づくりについて伺う。

**答** 災害時における救援物資の集積・供給拠点や指定緊急避難場所の確保等、防災活動の拠点の必要性について考えていきたい。

**尾崎広道 (自由クラブ)**

**保育園児の転入について**

**問** 遠方から転入時の入園手続への対応を伺う。

**答** 遠方からの移動負担が大きい、入園受付期間

中に来られない等の場合は、郵送受付と保護者了解のもと、現在通っている保育園等への状況確認等、直接面接の代替方法を検討する。

**問** 転入手続はいつまでに済ませる必要があるか。

**答** 3月20日までと案内しているが、事情によりできない場合、事前に入園申込があり相談があれば、3月31日までの手続で入園できるよう配慮する。

**交通環境について**

**問** 西浦町馬相交差点の歩道整備の考えを伺う。

**答** 県と相談しているが、事業の要望は、地元住民の協力が必要不可欠であり、沿道住民の同意を踏まえた要望が必要と考える。

**大須賀林 (自民党市議団)**

**ウイズコロナにおける高齢者対策について**

**問** コロナ禍ではあるが、寿楽荘が閉鎖となっていて困っている人がいる。高齢



寿楽荘

者に寄り添い、入浴だけでも再開できないか。

**答** 寿楽荘の閉鎖は、市の新型コロナウイルス感染症ガイドラインに基づく対応であり、感染防止やリスクへの対応の点からも警戒レベル4で開館することは考えていない。今後、警戒レベルが3になれば、入浴利用が可能となる。

**音楽のまち蒲郡の発展について**

**問** 市役所で昼休みにミニ演奏会を定期的に開催している人を応援できないか。

**答** 毎年、市民会館指定管理者の自主事業として、市役所でのミニ演奏会を実施している。今後も指定管理者と協力し、演奏の機会を創出していきたい。

**鈴木基夫 (自由クラブ)**

**国民健康保険事業について**

**問** 子どもの国保税均等割の減免について、県内市町村の実施状況を伺う。

**答** 一宮市、大府市、田原市及び設楽町の3市1町が実施している。

**問** 子育て支援の観点から、本市で子どもの均等割減免を実施する考えを伺う。

**答** 減免にかかる費用は、法定外繰入を行わないようにという国からの指導等に基づき、所得割等の引き上げにより賄う必要がある。また、法定外繰入の実施をした場合、保険者努力支援制度のマイナス査定を受け、被保険者の負担増となることが考えられる。

子どもへの支援は国保加入者のみならず幅広く実施

する必要があり、現行制度での減免の実施は考えていない。引き続き全国市長会を通じ、国に子育て世帯の負担軽減のための支援制度の創設及び必要な財源の確保を要望していきたい。

**松本昌成 (公明党市議団)**

**3歳児健診における弱視の早期発見について**

**問** フォトスクリーナーは、6カ月齢以降の乳幼児から各検査を短時間で負担なく行うことができる。導入について市の考えを伺う。

**答** 暗室や眼科医等の確保等課題もある。今後、導入した近隣市での健診時における精検率や発見率の増減に関する効果検証にも注視し、研究していきたい。

